

動物に優しい町づくり

私は、町動物に優しい町づくり」を提案します。私の考えた町は、そこに住んでいる人たちが動物を殺したり、嫌がったりせず、い、しょに仲よくなる町です。

そのために、まずイノシシやキツネやシカ、サルなど野生の動物たちのこゝちを知りて、慣れる必要があります。そこで、「動物に会えるコーナー」を作るアイデアを思いつきました。

このコーナーに10回通えば、そのコーナーの動物たちと心が通じて、い、しょに遊ぶことができます。例えば、犬・猫コーナー、イノシシコーナー、山猿コーナーなどです。

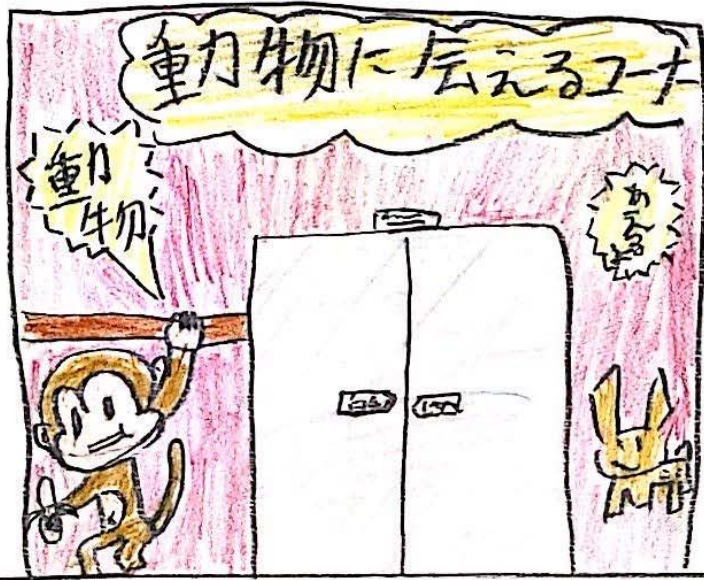
なぜこのようなコーナーを作るかというと、今、鹿や猿などの動物が、山に住んでばかりもふだんは、動物園にいる、「人に慣れた鹿や猿」しか見ることができません。だからニュースで、イノシシや猿が民家に出てきて、人を傷つけたとか射殺されたとか聞きます。決

して人間をおそふとか傷つけようとしたわけ
ではないと思うからです。山奥に住んでいた
動物たちは、人間が山を崩してビルを建てた
り、② 道路を造ったので、えさにならな
いものがあつて、出てくるのではないかと
か。動物たちの気持ちが変われば、私たちも
も、と優しくなれるので、動物たちも安心す
ると考えました。

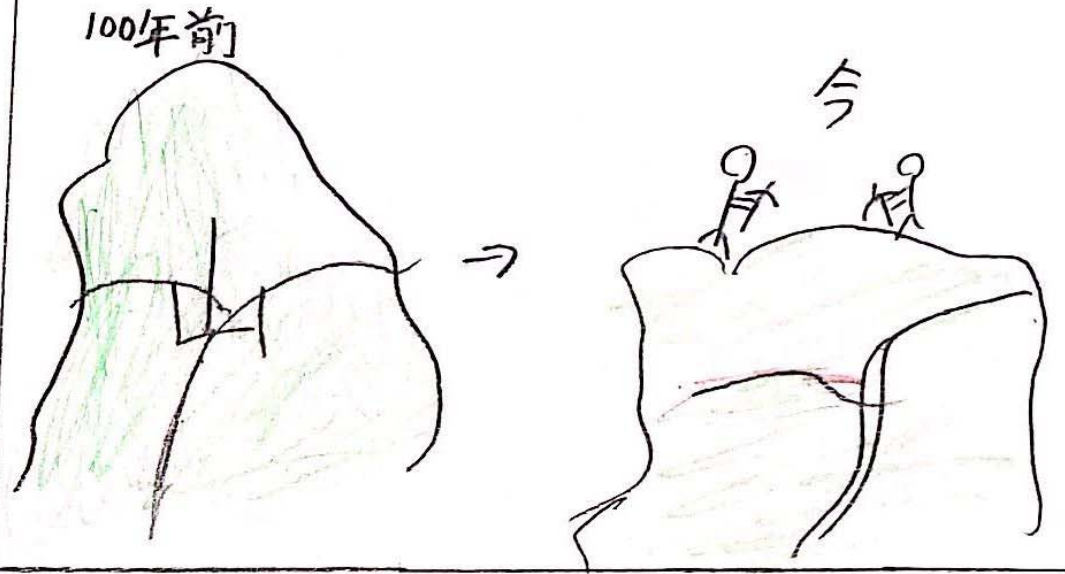
私のあだ名は「バンビ」です。バンビみた
いによく飛び回って、よく笑うからです。た
から「小鹿」と仲よくなれるコーナーを作
ります。③ 小鹿と仲よくなれる遊び道具や、呼び
よせるための笛を工作するコーナーを作ります。
す。何回もふれ合ううちに、人と動物がお互
いに気持ちが変わり合えると信じています。

夏休みに「大すみん家」という青少年自
然の家に泊ま、た時、キツネを見た人がいま
した。私も自然のことをもっと知って、④ 動物
たちと人が仲よく遊べる町をつくるお手伝い
をしたんです。

①

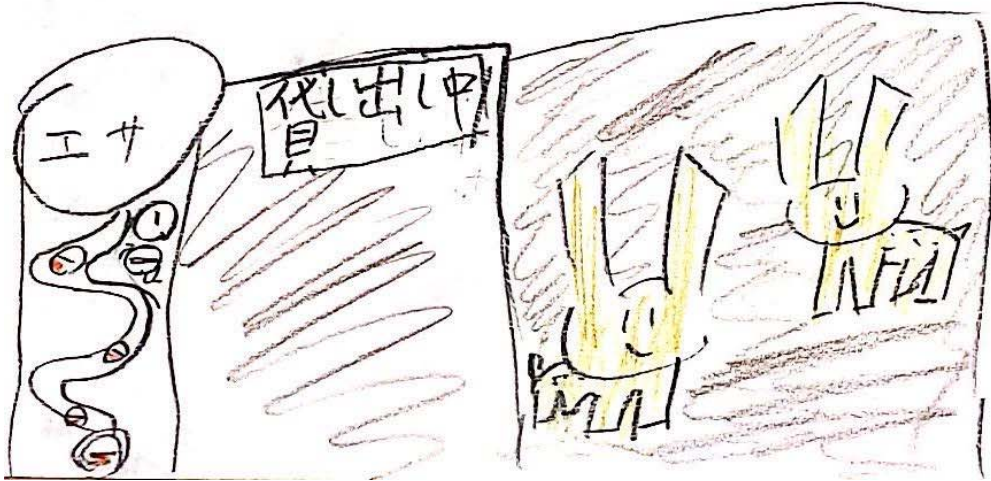


②



③

小鹿工舎



④

